

定性的な評価独自モデルのプロトタイプの「仮説」（墨田区食育推進計画評価検討会議 検討結果）

資料6－②

<定性的な評価の指標と項目>

定性的な評価は、「3つの評価指標」を設定し、「6つの評価項目」から行います。

基本目標	3つの評価指標		仮説（案）	カテゴリー（実践知）
 ひと	1. 体験に基づく知識や実践等の蓄積を把握する指標	ひと	① 1人ひとりが夢を持ち、ポジティブな思考力でピンチをチャンスにし、主体性を持って挑戦する。 ② つながる・つなげることに手間をかける。すなわち、対等な関係でのコミュニケーションや合意形成を重ねることを惜しまない。 ③ 想いや夢の実現のために、ビジョン（目的や理念）をみんなで共有し、ブレない芯を持って活動する。 ④ 活動の中で楽しさや感動等、生きがいを感じることであきらめずに継続することができる。	「人として」「価値観」「ビジョンの共有」「想いの共有」 「夢の共有」「を！に！で！」「信念」「理念」「ブレない芯」 「キーワード（食）」「対等な姿勢」「信頼関係」「ポジティブ」「スーパーポジティブ」「ポジティブな思考力」「思いやり」 「手間をかける」「人材育成」「主体性」「承継続」「着実な活動」 「ピンチをチャンスに」「挑戦する力」「実行の自信」「意欲」 「つながる、つなげる」「5つの行動のステップ」「合意形成」 「仲間ができた」「生きがい」「一体感」「感動」「楽しい」
 まち	2. 次世代の担い手の育成状況を把握する指標	まち	① すみだへの想い（郷土愛）を持ち、それを次世代へつなげている。 ② 区民も行政も包容力を持って個を大切にし、対等な関係でそれぞれが役割を分担し、活動する。 ③ 仲間と一緒に多様な手段でまちを育んでいる。 ④ 未来へ続けていくために、自分たちが取り組んだことや、すみだについて広く伝えていく。 ⑤ 人と人だけでなく、地域と地域がつながり交流することでネットワークや活動の幅が広がり未来へ続いていく。 ⑥ 平時からのつながりが、災害時に支え合えるつながりになっている。	「しくみづくり[墨田食育推進行動計画]」「しくみ」「しくみ継承」「ビジョン共有」「目的の共有」「場づくり」「機会・場所」 「時間が取れない」「振り返りをしっかり」「振り返り」 「協働（5つの基本目標）成立」「みんなの協働」「官民協働」 「庁内協働」「合意形成」「平時（計画の特色：2つの視点）」 「災害時（計画の特色：2つの視点）」「多様性」「アイディア」 「運営委員会」「役割を生む」「つながり」「つなげる手段」 「つながるための組織ができた」「土台を作った」「段取り」 「を！に！で！（goodネット食育の芽19号）」「人材育成」 「キーワード「食」」「未来へ続く」「継続」「定期化」 「振り返り」「広く伝える」「すみだらしさの発信」「評価」
 あんしん	3. 持続可能な推進体制を把握する指標	しくみ	① 食をキーワードに人と人がつながり活動していく中で、多様な人や多様な団体とつながり、活動の幅を広げる。 ② しくみや活動を継承していくためには、活動することが目的ではなく、活動した先に何を実現したいのかを常に意識する。取組は多様な人がつながる手段にする。また、つながるためには、共有できる場や組織をつくる。 ③ 取組を行ったあとは、必ず振り返りを行い、評価し、記録し、次の活動へ活かす。このサイクルと続ける過程で人が育まれ、活動が継承されている。 ④ 場（機会・場所）ができ、活動を続ける中で役割が生まれる。継続していく中で役割をしくみ化する。	「災害時（計画の特色：2つの視点）」「地域間交流」「主体性」 「場（3つの場）[墨田食育推進計画]」「まちを育んだ」 「役割で補い合う」「役割分担」「ビジョン共有」「夢の共有」「ネットワークの広がり」「多様な分野[墨田食育推進行動計画]」 「こどもへつなげる」「未来へ続く」「郷土愛」「包容力」 「受容する」「すみだらしさの発信」「多様な手段」「実現する」 「コミュニケーション」「個を大切に」「手間をかける」 「仲間ができた」「信頼関係」